めぐみ厚生センター恵友会 会報

第　３５１号

めぐみ厚生センター恵友会
法人本部　０９５２－２５－２７９７
めぐみ園　０９５２－３４－７７２２
富士学園　０９５２－６３－０１０７
ウイズ富士　０９５２－５１－００６３

発行人　副島　勉

郵便振替　めぐみ厚生センター恵友会　口座番号：　０１７７０－６－１２３８９
事務局　〒８４０-２２２３佐賀市東与賀町大字飯盛１５８４（めぐみ園内）：tel ０９５２－３４－７７２２

『恵友会　視察研修』

社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園　生活支援員
北御門　浩

２０２６年６月３０日（火）に、恵友会では２年ぶりとなる視察研修に参加しました。行き先は佐賀県唐津市にある、社会福祉法人まつら会障害者支援施設「からつ学園」です。当日は利用者３名、職員５名、家族会４名、地域の方（校区東与賀社会福祉協議会）１名の計１３名で研修に参加しました。

「からつ学園」は昭和６０年（１９８５年）に、知的障がい者支援施設として創設し、今年４２年目を迎えられます。現在は、知的障がい者支援施設・児童発達支援センター、グループホーム（３ヶ所）・相談支援事業を運営されています。平成２６年（２０１４年）に新舎が完成し、広大な土地にゆとりのある１階建ての生活棟で、当日は青空が広がり周辺の木々も清しく、自然豊かな場所で利用者の方も、伸び伸びと過ごされている印象を受けました。（自然豊か、といえば当法人の施設も山と畑に囲まれた場所です。）

玄関で手島新治施設長が私達を出迎えて下さり、研修室に入りました。見学では、井上課長に施設内を案内してもらいましたが、掃除が行き届き清潔感あふれる生活空間である印象を受けました。利用者の方は６０名で平均年齢は５４．６才。どの業界もそうですが人手不足の煽りを受け、食事は業務委託をされているそうです。

また、日中活動では乗馬体験も出来るとのことで、ビックリ！しました。見学後に手島施設長から、創立時に地域の方からの施設建設の反対の声もあり、大変な苦労の末、現在の場所に施設を建てることが出来た話を聞き、改めて私達の仕事は尊いことを感じました。

手島施設長

最後に、以前めぐみ園で過ごされていたＹ・Ｓさんと再会し、変わらぬ笑顔と今でも野球を続けていることをジャスチャーで伝えてくださり、人と人との繋がりや、施設同士の繋がりが、一人の方の人生に寄り添っていることを思うと、胸が熱くなりました。

利用者　家族　地域の方と

「からつ学園」の視察研修を終え、一行は唐津市にある「おさかな村」で食事と買い物を楽しみました。朝早く出発したせいか、帰りの車内では皆さんウトウトと夢見心地でしたが、利用者の方やご家族、なによりも地域の方と一緒に外出する機会はなく、お互いを知る良い機会となったのではないでしょうか。利用者の方３名も普段の外出とは違う雰囲気を楽しまれていたように感じました。めぐみ厚生センターの理念である『共に生きる』の精神が、この視察研修の中にも根付いていました。

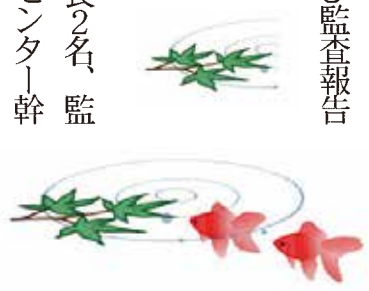
見学を快諾してくださった「からつ学園」の皆様、安全運転で楽しい旅をバックアップしてくださった運転手の方、心より御礼を申し上げます。

《 恵友会　第２４回総会　報告 》

去る、６月２３日に、めぐみ園にて第２４回総会を行いました。冒頭、副島会長より恵友会の会長・顧問をされていた鴫原貞雄氏が今年２月９日にご逝去され、その功績に対する感謝の言葉と、昨年亡くなられた若林興三氏（元めぐみ厚生センター事務局長）への追悼の意を表し全員で黙祷を捧げました。

その後、左記の内容で協議をしました。

議題１　令和７年度事業報告
議題２　令和７年度会計決算報告及び監査報告
議題３　令和８年度事業計画案
議題４　令和８年度会計予算案
議題５　その他　（役員再選）



右記議題について会長１名、副会長２名、監査１名、幹事４名、めぐみ厚生センター幹部職員１３名の計２１名（正会員２４名の半数以上）の承認を受けたことをご報告いたします。

事業計画として、今年度が隔年開催の「視察研修」の年となり、６月３０日に「からつ学園」の視察に行く予定であること、例年通り各施設の「秋祭り」「交歓の広場」に協賛することが決まった。

会計予算として、今まで不定期にめぐみ厚生センターに寄付をしてきたが、今年度に寄付をすることの決議がなされた。

その他として、現役員はそのまま再選され今回に限り１年１期とすることが承認された。

また、総会後の座談会でも、めぐみ厚生センターの後援会として、ご家族や地域の皆様、職員が思いを一つにし、利用者の方々の「幸せ」のために「出来る事をしていく」ことを確認し合いました。副島会長・福島副会長・古賀副会長のユーモア溢れるお話も加わり、アットホームで笑いの絶えない会となりました。粛々とではありますが、会員同士の交流も含め、障害に対する理解を深め、利用者の方の豊かな生活を後押し出来るように務めたいと思います。

皆様方の御協力を宜しくお願いいたします。

追悼　故・鴫原貞雄氏（恵友会三代目会長）を偲ぶ

めぐみ厚生センター　理事長　栗林恵一

当法人と鴫原先生とは、鴫原先生が１９８２年（昭和５７年）に、日本空港給油常務取締役として佐賀に赴任された時、当法人初代理事長の栗林眞吾・ミサ夫妻（いずれも故人）と知り合い、それ以来の長いお付き合いになります。

当時、ミサ氏と法人事務局長の若林興三氏（故人）が鴫原先生に「めぐみ厚生センターのこれからに必要なこと」を相談した際、地域の方と家族と職員と『共に』利用者の方を支える、めぐみ厚生センターの後援会を立ち上げてくださり、今の「恵友会」が誕生しました。以来、千葉に戻られた後も「恵友会」のことを気に留めてくださり、総会や「ふれあいの広場」には必ず駆けつけてくださいました。

常に「今」を大切にしながら、「１０年先」「５０年先」を見据えた構想を頭に描いておられました。鴫原先生が残された「恵友会」の明かりを灯し続け、当法人の理念である「共に生きる」を継続していきます。

衷心から敬意を表し御礼を申し上げます。

※写真は２０１３年「ふれあいの広場」の開会の挨拶時の鴫原氏

役員紹介　（敬称略）

会長	副島　勉
副会長	福島龍一
副会長（会計兼務）	古賀洋子
幹事（書記）	永尾耕三
幹事	海東　強
幹事	山田英子
幹事	岡部洋子
監事	野中明文・平山修子

よろしくお願いいたします

◎会費納入　ありがとうございました。

（令和８年６月３０日現在）　（敬称略）

古賀洋子、白浜みゆき、平山修子、九州食品、村岡　洋、多良勝利、山口勝正、大渡２名（多布施理容）、めぐみ園家族会６４名、森永弘太、池田醤油、福島龍一、古川美津子、栗林恵一・扶貴、岩田真剛、野中明文、十時忠秀・やよい、㈱永池、園田健介、武下正文、栗林康之・三枝子、栗林裕幸、本吉ミヨ子、柿木啓子、松藤範幸、大金通浩、丸秀醤油、山﨑圭子、梅野勝子、高野勝美、副島　勉・純子、斉藤明正、永尾耕三、岡本保子、中村昌平、武久好光、梅本隆司・富実子、佐賀県ヤクルト販売、富士学園家族会１２８名、堤　宏隆、内川商事、富士学園・めぐみ園職員２４名

◎ご寄付　ありがとうございました。

（令和８年６月３０日現在）　（敬称略）

武下正文、村岡　洋、山﨑圭子、十時忠秀・やよい、斉藤明正、福島龍一、栗林裕幸、栗林康之・三枝子、森永弘太、大金通浩、中村昌平、梅本隆司・富実子、岡本保子

※編集後記※

大河ドラマのファンです。特に戦国時代の武将に惹かれますが、栄華と苦しみの歴史でもあります。

『夏草や兵どもが夢の跡』

世界の戦いが終わり自然が戻るように。

（編集局）